

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	21206
----------	-------

1. 開設大学	広島大学 総合科学部	開催方法 (キャンパス・施設)	<input checked="" type="checkbox"/> 対面 (東広島キャンパス) <input type="checkbox"/> オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	環境中微粒子の実態と健康—今を理解して未来を考える—					
	学問分野	番号	43	名称	環境	
3. 担当教員	石原 康宏、竹田 一彦、岩本 洋子 統合生命科学研究科					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和 4年 8月 4日 (木) 10時 00分 ~ 16時 00分 (50分×4回)					
個別開講日	1回目 8/4	2回目 8/4	3回目 8/4	4回目 8/4	5回目 /	6回目 /
5. 募集定員	50人					
6. 科目内容・ 授業計画	<p>2015年の国連サミットで Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標, SDGs) が採択され、2030年までに17個の目標を達成するべく各国が努力しています。17個の目標の中には環境学からアプローチできるものもたくさんあり、例えば、PM2.5の問題、プラスチックゴミの問題などがそれに当たります。本講座ではPM2.5やマイクロプラスチックなど環境中の微粒子に着目し、これら微粒子がどのように生じどのような運命を辿るのか、またヒトをはじめとした動物にどのような影響を与えるのかをお話しし、未来の地球に対して私たちが今できることについて議論します。</p> <p>また、私たちが研究を行っている様子を見学して頂き、環境研究の一端にも触れてほしいと思っています。</p> <p>【講座計画】 8月4日(木) 会場：総合科学部事務棟3階第1会議室 (集合9:50 集合場所：総合科学部事務棟正面玄関) 第1講 10:00-10:50 海の微粒子—プラスチックゴミの末路 (竹田) 第2講 11:00-11:50 大気中の微粒子—PM2.5と未来 (岩本) 昼休み 第3講 14:00-14:50 微粒子と健康—吸い込むと何が起こるか (石原) 第4講 15:00-15:50 今を生きる我々の宿題 (全員) 昼食後(13:00-14:00)に「環境研究の現場から」と称して、研究室ツアーを開催します。環境研究がどのように進められるのか、実地で説明します。(担当：石原、竹田、岩本)</p> 					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) 必要な資料は当日配布します (費用負担はありません)。					
9. 開講条件※ あり・ <input checked="" type="checkbox"/> ない	① 最少開講人数 () 人 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 (7月8日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月9日(土)以降の開講科目は6月末まで)					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など COVID19の感染拡大により対面実施が不可となった場合は中止とします。					
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ →広島大学→交通アクセス→東広島キャンパス 広島大学総合科学部アクセス https://www.hiroshima-u.ac.jp/access					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。
 コロナ禍の影響により、対面講座が不開講となった場合は中止とします。